

愛知県青少年育成県民会議だより

Next Generation

次代

第152号 2021.10

インターネットを安全・安心に使うために

学ぼう! ネットのトラブル 作ろう! 家庭のルール

愛知県

ネットトラブルの例

トークアプリなどでの悪口や仲間外れ

こうしたトラブルを防ぐためには…

▶「青少年のネット安全・安心講座 ～みんなのネットモラル塾～」を受けよう!

愛知県では、出張講座とオンライン講座を開催します。

- ・子どもたちが巻き込まれやすいトラブルや危険性について理解を深めていただけます。
- ・フィルタリング(※)を設定しても防くことができないトラブルを回避するため、子どもたちがSNSを利用する際の基本的な注意点や、家庭でのルールづくりについて学んでいただけます。

※フィルタリング＝アダルトサイトや悪質なサイトなど、青少年が安全に安心してインターネットを利用する上で、有害な情報から守ってくれる機能

(受講者の声)

「インターネットは便利だけど、使い方を間違えると大変なことになったわかった。」
(小学生)

「具体的な事例を使って説明してもらったので、インターネットの危険性をより理解することができた。」
(小学生の保護者)

▶Webをチェックしよう!

Webサイトでは、子どもたちが安心してインターネットができるように、フィルタリングのご案内や各相談窓口、家庭のルールの紹介などを行っています。

今後、オンライン講座の動画も随時アップしていきます。

青少年のネット安全・安心講座
～みんなのネットモラル塾～
<https://netmoral.jp/>

家庭のルール(一部紹介)

- ◎メールやメッセージは相手の立場になって読み返してから送る(小学4年生)
- ◎本当に大切なことは、ケータイ・スマホを通してではなく食べて伝える(小学4年生)
- ◎個人情報を入力しない(中学3年生)

お問い合わせ先: ネットモラル塾事務局
052-774-5133 (月～金 10:00～17:00 ※祝日及び年末年始除く)

愛知県では、青少年のインターネット適正利用に向けて、啓発チラシの配付などを実施しています。このチラシは、8ページのQRコードからダウンロードしていただけます。

CONTENTS

表紙写真/「学ぼう! ネットのトラブル 作ろう! 家庭のルール」チラシ	1
第52回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等表彰受賞者一覧	2
私の意見 ～「しあわせ届け隊」としての活動を通じて～	3
令和3年度「少年の主張」愛知県大会が開催されました	4
令和3年度「少年の主張」愛知県大会「最優秀賞」作品紹介	5
「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(夏期)」を実施しました	6
11月は「子ども・若者育成支援県民運動」の強調月間です	6
第60回「青少年によい本をすすめる県民運動」	7
「みんなのネットモラル塾」を開講しています	8
令和3年度ボランティア活動功労者表彰受賞者一覧	8



愛知県青少年育成推進キャラクター
「ゆうりい」

第52回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等表彰受賞者一覧

県民会議では、毎年県内において青少年の健全育成に多大なる貢献をされた個人・団体を表彰しており、この度、個人の部：12名、団体の部：9団体が受賞されました。

日頃の活動に改めて感謝申し上げるとともに、今後も、それぞれの地域、立場での一層の御活躍を期待します。

■個人の部(青少年)

該当者なし

■個人の部(青少年育成者)

(敬称略)

氏 名	住 所	所 属 団 体
市川 雅子	蒲郡市	とうふねこ座
井上 勲	西春日井郡 豊山町	一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟
加納 泰彦	名古屋市 中村区	中日こども会
神谷 守人	西尾市	愛知県子ども会連絡協議会
白羽 圭子	東海市	一般社団法人ガールスカウト愛知連盟
杉浦 和彦	安城市	安城市子ども会育成連絡協議会
鈴木 満昭	海部郡 蟹江町	蟹江町スポーツ少年団
高崎 吉郎	田原市	田原市青少年問題協議会
奈須 加代子	名古屋市 昭和区	昭和区子ども会育成連絡協議会
長谷川 文男	犬山市	特定非営利活動法人犬山市体育協会内 犬山市スポーツ少年団
山田 孝吉	春日井市	春日井市スポーツ少年団本部
吉田 真美子	丹羽郡 大口町	ガールスカウト愛知県第11団
計12名		

■団体の部(青少年団体)

団 体 名	所 在 地
桜花学園高等学校インターアクトクラブ	名古屋市 昭和区
ガールスカウト愛知県第85団	豊明市
日本ボーイスカウト愛知連盟稲沢第6団	稲沢市
日本ボーイスカウト愛知連盟知多西南地区武豊第2団	知多郡 武豊町
日本ボーイスカウト愛知連盟東海第1団	東海市
計5団体	

■団体の部(青少年育成団体)

団 体 名	所 在 地
あま市青少年健全育成推進協議会	あま市
名古屋市立植田東小学校PTA	名古屋市 天白区
日進市南学区家庭教育推進委員会	日進市
碧南市青少年育成推進員連絡会	碧南市
計4団体	

私の意見 ～「しあわせ届け隊」としての活動を通じて～

桜花学園インターアクトクラブ 顧問 河合 保昌

■ 桜花学園インターアクトクラブ ■

桜花学園インターアクトクラブは、ロータリークラブの支援により平成7年に成立した学校内の部活動です。部員は約30名で、火・水・金を通常活動とし、土日は校外で活動しています。高校生として「アクト」することを念頭に置いて活動をしています。その中心となるのが、ボランティア活動・イベント活動です。主な活動は、①福祉施設への訪問 ②鶴舞公園でのイベント活動 ③手話学習を通じての聴覚障害者理解などです。様々な施設・団体からの依頼も多く、充実した活動を展開しています。



■ 「しあわせ届け隊」としての活動 ■

福祉施設への訪問の中で、特徴的なのが、「しあわせ届け隊」としての活動です。これは、レクの時間を利用してパフォーマンスを披露する活動です。内容は、「ミュージックベル」「手遊び」を中心に、ダンスやマジックなどを組み合わせています。発表は、1時間ぐらいです。一方的な発表に終わらず、施設の方々と一緒になって、楽しい時間を過ごします。最初は、硬い表情の参加者も、徐々に表情が緩み、微笑や笑いの中で楽しい時間を共有することができます。特に「手遊び」は、オリジナルなものも多く、また、手足を動かすことで、認知症予防にもつながっています。「手遊び」をするときは、生徒が参加者の近くまで行き、対話をしながらアットホームな雰囲気を実施します。

■ ボランティア活動 = 生徒の成長 ■

本校では、1つの活動に対して生徒リーダーを決めます。このリーダーは、施設と連絡、当日の流れや出し物も決めます。「ミュージックベル」「ダンス」などは、多くの練習時間も必要です。この練習計画も立てます。日頃、電話を掛けたことがない生徒が、施設へ電話をし、担当の方と連絡を取り合うのは大変です。最も大変なのは、生徒のチームワークを保つことです。自分の思い通り計画が進まず、悩む生徒もたくさんいます。このような中で、リーダーシップをとることの大切さを知り、みんなと本音で話し合うことを学びます。この大変という壁を乗り越えた時、生徒は大きな成長を見せます。

最近では、コロナ禍の影響で、校外での活動の多くが中止になってしまいました。将来は、以前のような活動が再開できた時、すぐに施設訪問ができるように、日ごろから練習を続けています。



令和3年度「少年の主張」愛知県大会が開催されました

愛知県・愛知県青少年育成県民会議・独立行政法人国立青少年教育振興機構を主催、愛知県教育委員会・東海市教育委員会を共催として「令和3年度少年の主張愛知県大会」が、8月20日(金)に東海市芸術劇場で開催されました。

県内262校の中学校から、39,517名の応募があり、各地区から選ばれた中学生が日頃からの思いや自分の考えを堂々と力強く発表しました。

発表内容は、コロナ禍の中で自分と向き合った作品、家族・学校生活や地域に関する作品などで、いずれも社会や世界、そして未来に向けて前向きな考え方をもち、行動しようとする意欲に溢れ、会場を埋めた聴衆から盛んな拍手がわき起こりました。

各賞の受賞者は右表のとおりですが、最優秀賞を受賞した大野未結さん(春日井市立岩成台中学校3年)が、全国大会の出場候補者に推薦されることになりました。

種 別	題 名	受 賞 者
最優秀賞 (愛知県知事賞)	「人」という字の二画目に	春日井市立岩成台中学校 3年 大野 未結
優秀賞 (愛知県議会議長賞)	学びを止めない	刈谷市立依佐美中学校 3年 石原 あのん
優秀賞 (東海市長賞)	私を伝える	豊田市立末野原中学校 3年 福田 瑞希
優秀賞 (愛知県教育委員会賞)	「みんな」と生きる道	知立市立知立中学校 3年 若狭 圭輔
優秀賞 (愛知県青少年育成県民会議会長賞)	声を上げる今	蒲郡市立形原中学校 3年 三浦 颯太
奨励賞 (愛知県青少年育成県民会議会長賞)	本当の自分を生きる	東海市立平洲中学校 3年 石川 歩実
奨励賞 (同上)	父の器	西尾市立佐久島しおさい学校 後期課程3年 大島 遥
奨励賞 (同上)	夢を現実に	蟹江町立蟹江北中学校 3年 乗原 沙和
奨励賞 (同上)	食べることは生きること	新城市立千郷中学校 3年 関原 姫春
奨励賞 (同上)	すてきな特別	蒲郡市立大塚中学校 3年 高橋 陽菜
奨励賞 (同上)	災害で気づく地域の輪	小牧市立篠岡中学校 3年 谷口 結音
奨励賞 (同上)	「ありがとう」はエネルギー	豊田市立井郷中学校 3年 藤村 晃佑
奨励賞 (同上)	一言の中に	南知多町立内海中学校 3年 三浦 陽也
奨励賞 (同上)	語り継ぐ	犬山市立城東中学校 3年 水野 櫻子
共感賞 (*)	声を上げる今	蒲郡市立形原中学校 3年 三浦 颯太

(*)「共感賞」は、開催地東海市の中学生から選ばれた5名がジュニア選考委員となり、最も共感できる作品を選出しました。



〈発表者の皆さん〉



〈ジュニア選考委員の皆さん〉

令和3年度「少年の主張」愛知県大会「最優秀賞」作品紹介

「人」という字の二画目に

春日井市立岩成台中学校 3年 大野 未結

「医療従事者に感謝」そんな言葉を聞くと、私の心の中にはある人たちの姿が浮かびます。

私の祖父は、私が生まれる前から数えきれないほどの病氣と闘ってきました。そんな病弱な祖父を、弱音を吐かずにずっと支え続けてきた祖母は、いつしか私の憧れの存在となっていました。直腸がんになった祖父は、自分で排便することができず、「ストマ」という人工肛門をつけることになりました。だれもが嫌がる「下の世話」を、祖母は文句一つ言わず、ただひたすら行っていました。祖母がストマを換えている時、私は臭い、汚いという気持ちが先に立ち、逃げていました。当時の私は、祖父の現状から目を背けるただの傍観者だったのです。



その後、祖父は認知症になりました。夜中に部屋の電気をつけて祖母を起こす、スムーズに会話が進まない、突然叫ぶ…祖母の疲労は確実にたまっていったはずですが。それなのに、私たちの前では笑顔を絶やさない祖母。私は祖母を助けたいと思いながらも、何をしてあげたら良いのか分からず、おろおろするばかりでした。

そんな時、「おばあちゃんにピアノを聞かせてあげて。」と母は言いました。言われるままに祖母にピアノを弾くと、祖母は今までとは違う、幸せに満ちた笑顔で私の演奏を最後まで聞いてくれました。その日から、祖母のためにピアノを弾くという習慣ができました。そして私は、初めて人のために弾くという喜びを感じるようになったのです。

その後、二度目の脳梗塞で倒れた祖父は、入院生活を始めました。祖父に会った時、どう話せばよいか分からず、お見舞いに行くことに戸惑いと抵抗がありました。「行きたくない」そんな言葉が頭をよぎっていたのです。

私は、祖父と少し距離をおいていました。無口で不愛想、そして「怖い」という印象が強かったのです。ところがある時、「未結はいつ来るんだ？」と祖父が言っていたと祖母から聞きました。祖父は私を待っていてくれたのです。私は、祖父から求められているという事に大きな喜びを感じ、お見舞いに行きたいと思うようになりました。

ある日、病室のドアを開けると、祖父がとても優しい笑顔でこちらを見ていました。チューブやコードに囲まれ、無機質な音に包まれた部屋の中、私たちの顔を見ながら嬉しそうに笑う祖父。それを見たとき、私は全力で祖父の力になりたいと思ったのです。

祖母の手伝いをし、祖父と一緒にリハビリをするようになると、怖かった祖父との距離がだんだんと近づいていきました。

そして祖母が、どんなに辛くても祖父に誠心誠意向き合って介護ができるのは、祖父が稀に発する、「ありがとう。」の言葉に支えられているからなのだと気づいたのです。

そんな祖母の姿が、いま、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、必死に働いている看護師の方々の姿と重なります。

先日、コロナの重症患者を看る看護師の日々を特集する番組を見ました。完全防護し、ガスマスクのようなものをつけて患者と接しなければならない看護師さんが発した、「マスクをつけていると、患者に笑いかけ、安心させることが出来ない。」という一言は、私の心を強く打ちました。想像していた「暑い、苦しい、疲れた。」という言葉ではありませんでした。過酷な状況の中、患者の心を第一に考え、動く。そのようなことがはたして私にできるのでしょうか。

人という字の二画目は「支えられている人」、二画目は「支えている人」なのだそうです。

祖母や、コロナと闘う医療従事者の方々は二画目。私はまだ「一画目の人間」です。けれども、私は祖父の介護を通して、支える側の人々の気持ちを学ぶことができました。ただの傍観者ではなく、「なにかしてあげたい」「喜ぶ顔が見たい」と思うようになり、人から求めてもらえるという幸せを知りました。

祖父が亡くなって、今年で三年になります。祖父母に教えてもらった「人のために行動することの大切さ」を胸に、どんな厳しい現実にも心折れることなく立ち向かい、人のために尽くせる「二画目の人間」を目指していきたいと、私は今、心に強く思うのです。

「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(夏期)」を実施しました ～非行の芽 はやめにつもう みな我が子～

県民会議では、県、県教育委員会、県警察本部と共催で7・8月の2か月間、「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(夏期)」を行いました。

青少年へのスマートフォン等の普及に伴い児童ポルノ被害などが近年増加傾向となる中、自治体、関係団体等が相互に協力しながら、地域一体となった青少年の非行・被害の防止のための各種取組を実施しました。

【運動の重点項目等】

◎ 最重点項目	ペアレンタルコントロール等によるインターネット利用に係る子供の犯罪被害等の防止
○ 重点項目	有害環境への適切な対応 薬物乱用対策の推進 不良行為及び初発型非行(犯罪)等の防止 再非行(犯罪)の防止 いじめ・暴力行為等の問題行動への対応

【運動結果】

各機関・団体では、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮したうえで、広報やパトロールなどを中心とした活動を実施しました。

【主な取組】

- ・ FM AICHI番組「AICHI SATURDAY TOPICS」における被害防止広報等の実施
- ・ 各市町村窓口におけるチラシ、のぼり等での非行・被害防止広報の実施
- ・ 県警音楽隊と共に小学校においてSNS利用に関する講話の実施



〈小学校での講話の様子〉

11月は「子ども・若者育成支援県民運動」の強調月間です

引きこもりや不登校、若年無業者、貧困などの社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者の問題や、少年非行、いじめ、児童虐待、児童ポルノや児童買春を始め子どもが被害者となる事件など、社会全体で取り組まなければならない課題が山積しています。

県民会議では、内閣府の「子供・若者育成支援推進強調月間」に合わせ、県とともに毎年11月を「子ども・若者育成支援県民運動」の強調月間と定め、「育てよう 自分に勝てる子 負けない子」をスローガンに、各関係機関、団体により、広報啓発活動や各種事業等を集中的に実施し、子ども・若者の健やかな育成や自立への支援を呼びかけます。

この機会に、子ども・若者を取り巻く環境を、大人自身が再度見直し、子ども・若者を地域全体で育成し、自立を促すための支援のネットワークの輪を広げていきましょう。

第60回「青少年によい本をすすめる県民運動」 ～はがきによる読書感想文・感想画を募集しています～

青少年が「優れた本(よい本)」を読み、心の糧とすることは、青少年の想像力、社会性を養うとともに、豊かな人間性を培う上で大きな役割を果たすものです。

県民会議では、読書を通じて青少年の健全育成を図るため、毎年10月の強調月間を中心として、「青少年によい本をすすめる県民運動」に取り組んでおり、今年度で60回目となります。

青少年が本に親しみ、読書習慣をつくる契機となるよう、読書感想文・感想画を以下のとおり募集します。

- 応募方法 下記の募集図書16冊の中から好きな図書を1冊読み、読書感想文・感想画をはがきにかいて、郵便番号、住所、氏名、学校名・学年又は職業・年齢を明記の上、お送りください。
- 応募資格 県内在住又は県内に通学・通勤している方
- 応募期限 2021年11月5日(金)【必着】
- 応募先 〒460-8501 (住所記載不要) 愛知県青少年育成県民会議事務局

読書感想文募集図書一覧

作品名	著者名／訳者名	出版社	本体価格
幼児向け			
なまえのないねこ	文:竹下 文子 絵:町田 尚子	小峰書店	¥1,500
こどもかいぎ	作・絵:北村 裕花	フレーベル館	¥1,300
だいすき ぎゅっぎゅっ	文:フィリス・ゲイシャイトー、 ミム・グリーン 絵:デイヴィッド・ウォーカー 訳:福本 友美子	岩崎書店	¥1,300
小学校低学年向け			
フルーツふれんず スイカちゃん	作:村上 しいこ 絵:角 裕美	あかね書房	¥1,200
ようかい川柳	作・絵:石崎 なおこ	教育画劇	¥1,100
ハンバーグハンバーグ	作:武田 美穂	ほるぷ出版	¥1,100
小学校中学年向け			
はじまりはたき火 火とくらしてきたわたしたち	文:まつむら ゆりこ 絵:小林 マキ	福音館書店	¥1,400
ねこの小児科医ローベルト	作:木地 雅映子 絵:五十嵐 大介	偕成社	¥1,500
感染症を正しく学べる！ はたらく細胞ウイルス&細菌図鑑	編:講談社 監修:シリウス編集部、 はたらく細胞製作委員会	講談社	¥1,400
小学校高学年向け			
命のうた ぼくは路上で生きた十歳の戦争孤児	著:竹内 早希子 絵:石井 勉	童心社	¥1,400
キャラメル色のわたし	作:シャロン・M・ドレイバー 訳:横山 和江	鈴木出版	¥1,600
わたしのあのこ あのこのわたし	作:岩瀬 成子	PHP研究所	¥1,400
中学生・高校生向け			
泣いたあとは、新しい靴をはこう	編:日本ペンクラブ	ポプラ社	¥1,500
アドリブ	著:佐藤 まどか	あすなる書房	¥1,400
青年向け			
ハナコの愛したふたつの国	著:シンシア・カドハタ 訳:もりうち すみこ	小学館	¥1,600
赤毛証明	著:光丘 真理	くもん出版	¥1,300

「みんなのネットモラル塾」を開講しています

子どもたちが安全にインターネットを利用するためには、保護者と子どもの双方が、インターネットに潜む危険性やその対策を理解し、インターネットを適切に利用するための家庭でのルールづくりを行うことが大切です。

愛知県では、家庭でのルールづくりを支援する「青少年のネット安全・安心講座 ～みんなのネットモラル塾～」を2018年度から毎年開催しており、今年度も引き続き開講しています。

講座の内容

- ・子どもたちが巻き込まれやすいトラブルや危険性について理解を深めていただけます。
- ・フィルタリングを設定していても防ぐことができないトラブルを回避するため、子どもたちがSNSを利用する際の基本的な注意点や、家庭でのルールづくりについて学んでいただけます。

実施期間 2021年6月1日(火)から2022年3月15日(火)まで

講座形式 出張講座又はオンライン講座

対象者 保護者、教職員、児童・生徒、その他子どもたちを見守る立場にある大人 等

受講者数 30人程度から御希望の人数まで、可能な範囲で対応します

受講時間 1～2時間を基本としますが、御希望に応じて柔軟に対応します

講師 県が委託する事業者が講師を手配します

(委託事業者：スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社)

会場 学校の教室、講堂、地域の公民館 等

※受講場所は申込者様が御準備ください

受講費用 無料(オンライン講座の場合、通信費は自己負担)



申込方法

講座開催希望日の1週間前までに、いずれかの方法でお申込みください。

①Webページからのお申込み <https://www.netmoral-jyuku.jp/apply/>

②ファクシミリでのお申込み

下記のWebページから申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、申込先宛てに送信してください。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/syakaikatsudo/netmoral.html>

申込先

ネットモラル塾事務局：県委託先(スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社)

講座専用電話：052-774-5133 (月～金 10:00～17:00 ※祝日及び年末年始を除く)

ファクシミリ：052-726-3243



表紙のチラシは、こちらからダウンロードしていただけます

令和3年度ボランティア活動功労者表彰受賞者一覧

愛知県では、各分野においてボランティア活動を実践し、顕著な事績を収めた個人又は団体に対し表彰を行っています。今年度は、次の方々が受賞されました。

(敬称略)

受賞者	主な活動内容
富田 昭則 (一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟)	ボーイスカウトの指導及び育成
室井 恵子 (一般社団法人ガールスカウト愛知県連盟)	ガールスカウトの指導及び育成